

# 新時代令和から

令和二年一月 小野町議会議長 村上 昭正



明けましておめでとうございます。町民の皆さまにおかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年も議会懇談会や本会議傍聴など、われわれ議会に対しご支援とご協力を賜り厚く御礼を申し上げる次第であります。また新天皇が御即位され令和という時代の幕開けの年でもありました。新しい時代が希望に満ち溢れた時代になることを願うところであります。

など、近年に例を見ない大災害になってしまいました。小野町においても床上・床下浸水、傾斜地の崩落、水田への冠水など被害が広がりました。被災者の皆さまに心からお見舞い申し上げますとともに早急な復旧を願うところであります。

昨年は市町村対抗福島県軟式野球大会において初のベスト8進出や小中学生のスポーツや文化面での各種入賞などの活躍もあり、多くの町民の方々に感動を与えていただきました。今年も期待したいところであります。

時代の流れとともに子どもたちの育成過程に改善が必要とされ、幼稚園、保育園を統合する認定こども園への移行、少子化に伴う小学校統合など大きな変革期を迎えております。子どもたちが未来を切り開き、たくましく生きていく力を育成する教育環境の整備が必要であるとの思いから進められてきたところであります。今後においても、子

どもたちにとって更に望ましい教育環境の在り方について、十分な議論が必要なのではないかと考えるところであります。

人口減少、少子高齢化の進行により地方を取り巻く社会状況も一段と厳しい状況下に置かれているのが現実であります。それに対する対策も功を奏していない状況が全国自治体の大きな課題となっております。要は拡大成長時代につくった制度や仕組みが今日の社会状況に通じない時代になっており、それぞれの地域の個性、獨創性、多様性といったものをどのように政策化できるかが、今日における地方自治体の役割であり大きな責務ではないかと考えるところであります。議会としても重要な責任の一端を担っていることを忘れてはならないと思っております。

われわれ議会もここ数年、議会改革に取り組んできました。その改革が少しずつ認めていただけたのか昨年は

5つの町村議会の皆さまが小野町議会の視察に訪れたところであります。議会改革も道半ばではありますが、今任期中も残すところわずかとなりました。町民の皆さま方の負託に応えられないところも多かつたのではないかと思います。4年間のご支援とご協力に心から御礼を申し上げます。誠にありがとうございました。

結びに、町民の皆さま方が今年一年すばらしい年となりますようにご祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

